

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-06

少進聞書

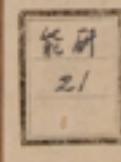
圖書

鉢巻

名加

一嘴

牛尾





京都婆小町

能樂研究所

一前ハ小袖又キカケテ 水衣扇サス枝ツ
ヌリ笠ヰル而老女 ヒヤギモヨ

一遺エキノ諷ニテ 笠スキテ起ノキニ持キシ
腰ヲカクルウニヨリ人ノ先程ノケテ兵タル
ヨニ枝ヲトニシク 駭化ヒテノケハヤト云時ツヒ
ウシヨヨリ互リト至ノたノ方ヘ行

六子教ノ傳ノケワノマト云様ノ互一時而之
身元者ノ方ヘソハムク

社モ袖モアラハコソト云時袖ヲソヘ 今ハ路頭ニ
ササラヒト云時互キ 又ねれノ心付テト云時
格ナリノ方ヘソハムク 聲ヌリナラハ互時

かす四シテ ナフ物クヘナフトキ時笠ツアソヌテ
僧ニ向トセソレ 日ハ行時ソク書トキ時西ソミル
開キハアリドト元ニヤイテタントキ時立ト
大鼓ギノウニテ行トセラモスカタマリ 治経凡所今濃
シテウエノ被カイトツテトキ時タム 結衣ノ袖
ウチカツヒテトキ時タムノ袖ギテ奉タム
アラ若ルニ目モヤトキ時胸ニ肩リ當トツケハモ
モ森 カウニセニハ久ハスハシメテヤトキ時胸ニテ胸ソ
サスヨニツケモトキ時タム イナヨシ塔トカモテ
トキ時タムニテシツキテ胸ソ上ヨリラシタクニヨ
トキ時タムナリテシツキテ胸ソ上ヨリラシタクニヨ

一問首ノ中 佛解ニキヤウノ辛ハシメテニテハ
十キカトシコチキ時タムセクナセクナたたラタクルヨシ奉タムト
祥風シラフニシタル仕事ト寢タムトす——

女郎花

一前ノお五五ノ蔓 赤鬼本夜玉クダリ不脊
扇持而咲荷モ不苦小耐ハヨ

一乍ノ人豪新ツナフヘトキ時 遠ニタ久ヨ
汗蘿下ツリフニリヤニト高ニ高音スル脚モ
シカシネモ 岸松ノハタツアト吉ヨリ脚ノ袖ソ
リテアソク仕事モアリ 未ナクソ是モ六トキ時
合掌シテ座シテサラハ汗蘿ト袖トキ時モソノニ
兵ヒサクツバメトキ時タムナリ

署城女郎瓦ニテシタルはノ仕事ノ時萬葉山帳
不モ其意無シ人情事りと 文行月トキ時

西えす見久るヨミスノムニトニ時而リ入ル

一枝而赤キイシ風折帽子黒キ名後絹
太肩スノ扇持杏年、白

一女ヲ先ヘホス アラエモ冠ノ御法アトニ時而
アクカシヒトニトニ時女高ニ行 故生門 身ヲ
ナクトニ時 ホム女ツクハウ 彩鳳足ヲ聞ズ
テトニ時左ノ迎也 は往來大変仕合モ一机タクギ
アレモ 驚キ淫リトニ時 女ノツクハ行先ル
アヘナリ死體アリナリトニ時 哭

啼ニ死體アトリ揚テトニ時 女脇ノ上ナク
シトノヨハナトナリト高扇左ノヤリ亦タナ
ム、ト高扇左ノ扇ノ身、列アリヤリモトシド
立時其ノホリタル宣ヨツト貫之トニ時三摺
アリ

让世ニテモナツクシヤトニ時 哭

ツイテサリニトニ時カツラノアリノヤウニヨシ
ハコニテ女ノ身ヲナケル而行足リ折テ
ツクハウ トモニ女ナリニトニ時左 女高扇ニテ
トニ高扇ニテ女高ノ方リ折ニ 又高扇トス入
ナリトニ時脇リタリヨシ 主六歳トニ時脇リテ
踊弟ニテモナツクシヤトニ時 命掌手スハ

惡鬼ハ身攻テトニ時扇ニツク

脚本

上ニテモ時大ノ手ヲツクシ扇ヲヤナシ連ニ上シ
生名ヨシ 始シヤトテ 行ノキハトニ時立テ
ナカヘ上ル仕事ノリ フルサハ身ヲトソシ
トニ時 身ヲ左ニヨリ 背ヲクタクトニ時

左ノハナ 軸面ミ ツルサノ枝ノト高扇
上ヨリシモタ公ニトニ附 扇リ希ウツクシア
持主ニリ興ル 花ノエシニトニ時左回ウカヘ
竹トニ時合掌シ太入

舟橋

一 姉水衣太口 扇持 女着

二 姉ノ次ノ小調ハ、女ト居観

三 二生木ノ道ツクリ竹ヘノ小汎ノ中スラニ
床ナリ 話リテ聞セサント立時ツクシ
窓ノ空ミト立時ミナリ 夕暮ノ元モト

立時西ソ見テ入

一 ほ面アヤカシ太口ハツヒ一童ノモヨシ太ノ肩

二 スノ奇枝サス扇持黒ヤシテ白半テキ

一 女弟アレ柱ツク載ノトニ附扇ニテ頭ツ指
テ廻ル足ノニシテトニ時脇ツ扇ニテサス

ケンカニシトキ時 脇ヲミル 王子輪ヤト肩
金堂ナシテ脇ノ見ヘヨシヤア程ノシテス
ト肩女脇ノ上様ナシル 人新ハソシカト
エ時肩ニテスヨリ圖ハナスヨ日月ハカナスヨ
タノモニヤトキ時肩ニテニツアソク 平ニ
ソシソトミヘシナカト云はノセニ袖ヤリクタケ
行ヒノ間ナクトキ時 古ノトトハナリヨリ
出ヘフミハソシト肩ナム墨モ身モニラキカド
シキテトキ時ナムニテヲ折リトウト兵
貌心ノ鬼ト成ヘキ正ノ時肩シ折キ杖シテ
格柱ニタテラシト肩杖シ而キニテツヨリ
身ヲスクニ立タルヨニ 悪龍ノ餌食ニカリ
トキ時足シ面白ク踏 無毛ト歟アトキ時
赤杖ツニアリテイカル心シカズル 我ト身シ
攻トキ時ヒサラシテ 行者ノ法味ト肩
抜ソヨリ四リテ格柱リノ方ヘ行ソヨリ
立降リテウカ丸身トソトキ時 四リテ五ノ
時肩シテツカヒテ入

忠則

二十六
二十六

一前皇光玉タヌキ卷人木枝ヲ持
扇指

一鳥ソニテ停ラント時本ノ枝ヲワリニ而
方ニツクハヒテ置合掌スルマサニテ立ノク
此花ノ位ホトノ御宿ノ作牛乳ト高取サヨニシ
鳥クルガ帝シ見テ云ヨレ忠則トキ
人ハトキ時ソクハ論議ノスエ是ニテ本クリ
タリトキ時腸ソ見テタタタ花ノナリトシく
トキ時主莫ノ告ソ待行ヘトキ時腸ソ見テ
花ノ陰ニヤドリ木ノ腐か多モ行ナカニテ入

一は面持袖シ張綺モ不若太ノ肩スル大口
奇頭常ノ雅羅ノモ肩持矢短拂フク

一又元お場御身ハ湯圓ニアリし人ナハトキ時
腸ソミル夢舟御車ニトキ時たノヒサシク
須磨ノ活風モト高橋ヤリノカラニテ
年ハ壽永ト高橋立ノカニトキ時腸ノ市
身ヲヒラキ家ニ行トキ時腸ノ市ヘムヤヒ
舟ニトリエリテトキ時家仕年マリ海上ニ
ウカアコニ佛アリ

立時たノ門ヤス仕年マリムストクムトキ時
立時たノ門ヤス仕年マリムストクムトキ時

久 トウトヲツトニ時 たナヒサヲツク
故、余モシトツアサヘテ時 たノヒサツ
左ノヒサヲタテ 脇ノ刀ニキシヤケレニト
高岡扇^{タカオハシ}ニカノツカラニキリクルマウニ^{ハシ}は卓^{タカオ}
右ノハキシカケス たノカイナツキヲセド扇
カノ肩シサケたノヒサヲサクルたノ脚キ
ニテハサシトツナケノケトニ時 たノ
袖クチツモテナケノク仕年^{ハサシ}ソリ年
竹^{タケ}ヒ時 たノユヒラ^吉スクニナシテ オシノク
解^{ハシ}ク^{ハシ}西^{ハシ}カニシトニ時 西^{ハシ}吉^{ハシ}ハヨ
一
名去ウニロナトナシハミエド不苦 ツイニ御
首シキリットストリ時扇^{ハシ}ニ首シツレル
六^{ロク}はんニ里^リフヤウトニ時立^{タチ}ニ^{ハシ}ハシ^{ハシ}體^{コト}
ミタテニツレハトニ時ハシス居^{ハシ}シ^{ハシ}リミタヨシ
時而ソカヨフ村紅葉トニ時立^{タチ}ノ古シニル
能^{ハシ}シニ六不思议ヤトニ時立^{タチ}カニヤ^{ハシ}
シテ矢^{ハシ}ラヌソ^{ハシ}扇^{ハシ}ト持^{ハシ}副^{ハシ}般^{ハシ}シヌ^{ハシ}マウニ
括^{ハシ} こハ誰害^{ハシ}ノ題^{ハシ}ス^{ハシ}トニ時 たノキシ^{ハシ}
す^{ハシ}ヘヤリ左ノキニテ矢^{ハシ}ノ根^{ハシ}ノ古^{ハシ}扇^{ハシ}

持ソヘ短冊シキノウニツキ 行薈テト

亥時 読ヤウニシテソロリサヘ一行き

今起ノアヘシナラシト亥時 床巻ノ爲ノ

たノ拉ヨリソニト 僕ナリナテハ起ヒト奇

矢シナシレニテ大ノ振アケ風ノ音ニトニ特

たニ矢シ静ニ振

井ノ音ニテ矢ト角トモニキテ

在ノニサシ裏薩摩

アラミテ矢ト角トモニキテシテ

矢シヤカニ捨ルナノ平ニテ

アラミテ矢ト角トモニキテ

花ノトニ角取ニテ腸シサヌ

アラミテ矢ト角トモニキテ

亥時立春ノ三遷ニ踏ヨシ

アラミテ矢ト角トモニキテ

扇ニテ左ノ方花ノ方ヘヤリ根ニカヘルト亥時

左ノ門テ左ノヒサシツキソノテ、左ノ門リ

腰脇ヲアヤミ本作シテ腰ノトニ時仕舞

柱ノ市

アラミテ入火ノ事

アラミテ火事ノ事

もるいとシ

左仕事も足金モ缺ク不謹也

一萬限也 今春代ニカ伊ヒ先き

也丁度ヒは候也

年

藤戸

一振而老女

賤而ヨシ

白毛水衣玉タヌキ

不揚麻持

一橿アリキナカラ 諷キス 首ノ表ニ

ナシトニ時啼

津前ニ春テルトニ

ハナ 桜花ノ果ニ啼

サクハソノ聲ニ時ニ事ニ也

コハソモ何ノ酬キトニ時啼

我子ト同ニ道ニ

トニ時脚ヲ恨テ元人自毛不知トニ時立ニ

春子ア(春竹)トニ時脚左ノギシカケテ

スルウツナキ多羅ト肩啼

一は黒カラハ半卷布山衣玉クヌギ揚
杏杖持扇サス 面マセ墨 罫

一朝ノ名、伊ニモヨハトアヒトは年々
ノムアハル游削ノトニ府西モリミ秋ツ
ツレテトニシソロトニシ行シムク
ナルツルナシヌイトトニ時半ニテ仕事ヲ
スル胸ノアタリシ指トリシトニ時胸半ノ
キシリアルサシトワルハトニ時足シ踵川
ソノヘ海ニリニ入ラシテトニシ半ツクモナリ
アケニテフヤウニシテ五ツモナリ緋ニ四

体ニトウド壇、折筋門垣ニトニ府ノ
ひニ立奉ル、洛没流ニエトニ府ツツリテ
朱ノ分ニ流シナツアトニ府、半ニスカリ
タチノトス、ウラミシナサント、里ニシニト
主時半ツ揚テスコニイハニ仕事シル
ミナシ棹ト寺左ノキツ半ヘヤドリサニ
シテテ行程ニト主時半ナヒク仕事
スル、生毛ノ海ツヨリトニ府ニ扇シヌク
はねド府ニシテ仕事ノ身トソトニ

脇ツ新ニテ入也

圓寺小町

一 作物初ハス左内ヘテ入ル

一 左人モ立白衣白衣 面面老老毛毛

櫛髮櫛髮 扇扇ね

一 作ハわ葉葉庵庵モナシ振ハリ拂拂 髮髮 拳拳

一 腹トヨリニ魏ヒゲテシニ短髮トコロ

シツクニ 早ヤハクイハクノ

一 枝作ハノ内内モ置置 久久作物作物物

カナリモヨリ

一 腳僧三人天天又又人人而而若若四

少少者者聖聖左左、小袖小袖ワタオル

扇扇の髪髪サク

一 沢ノツトウ 猫子小鳩

一 曜 腿ノ角アシカツナ風アヒル煙スモーク里アリ

トニナツル 車脚カーフハ作ハサウエルノミハヘ

ヨリテ 向ハシマル

一 又思ハル、カナニサヨトキ呼

イト、シク老シクシタノ身コトハリ行ハシマト

主時泣

一只イチく四シ手ハンドリドセトト時ハ腿アシ豆アダ
ソバソバヘヨリキソトトヤハススヘヘノ乞ハガシ
もしミシトシトチチ脚アシトトヤハチハ腰ウエル

一 金キン古コトハ里アリノ音オノメリ破ハラフノ音オノメ

至アリノ音オノメハ序シナリナリ

一 は車ハシマリ翁シロナリ老シクシタノ車アシ又アシ

物モノも車アシ思シム作ハサウエ町シロアシ

扇アシモ社シマツモ破ハラフキナトトシナリ

一 や聲オノメノ聞ヒムト鳥トリ車アシミ

一 王オノハシト鳥トリタチタチトストスハ聲オノメ

ツクハウハワル

一 フサニモナラハト車アシツラハウ

一 イトニ申シマツリ停ハスルト主時シマツ立タケルナ

拉ハラフトル作ハサウエル中ハシマツ門モン時ハソバヨリ

取ハサウエル作ハサウエルヨシカケテアシ時ハ

自シマツトモトノ聲オノメモニ序シナリナリケリ

多時シマツ聲オノメムラトト仕ハサウエル行ハシマリ

仕上人
内
仕上人

۲۹۱

卷之三

一面正解、お義父タスキア久睡
桶挽一聲、桶小説ナリ、桶
オニシナリノ方ニ置、ソテウト、
西向ノ、有ノ立ナニシジク、作桶、
上ニセテ置ヤカナ扇シヌ、
芭蕉、叶ツクハ、芭翁ナシシヌ
ノモ高立、浮草山トシ高腸ノ神ヲ
ヨリテ高ニヨリ上ニテシニヘ往高明
タモトリヒ寄キシモ、ソニニハシミニル
テ不名前ミノ方角シモニテソニテ
ソニテ思見トリヒシ寄キシテタヘルモ
アリ又扇トモリテツクハシタノキヲ

ツアヤウニテアレシスヘ社奉モア
桶ヲトリテヒ三島へ行テ浪
一香ニシテ大堀ミタケラハシノ
汎 芳舟を身をかりヒテ川桶ヲ

は面中特冠猪も指揮半生をあた
直とす。おまく調心ヲ付テ
カタニ 痛ニシヤクノ席アリトベキ
モノナリ。昔ハナリヨリカル多矣。
カシヨリシムヨリトベキ多矣。
牛尾野経ソハ西列ド奈良御
ニハ但馬也。行ヨリモ多御も

扇東ヒヨウ但ナシタノトキ西
モリヨシトモ多カナリ
タトタリト扇アラシテ左ノアリミル
ササアリ 鈎トウタヒトモ扇アラシ
ツリヤクルは麻アリテのナメヒタヒト
扇左モ扇トリニ島ハ池邊ノ樹右ト
扇三面ノ方ヒツミニ魚六月トノ
はフスト扇扇シトリヒニ足シツギ
右ム回ルナシ扇トノ迎ス 月モハヤト
扇西ノ方ツミ扇ミニテカサスハ吉澤
サフハシテト扇左右シサ迎月ノサス
の段下扇テ柱ノ所行左一四九

芑
菴

次第に聲の音節の往
讀音ノ内にて尋ツクハラ
常ノツクニテヨリが奥へ入
タク身ソトヤラホスラント壽陽シテ
立シタマリシモ一入
仕清胡ちスト袖シヌヨウナテモ
キリテテ文書ソ必ノ仕事アリ
猶シも之恨角チコム事アリ
は不為習トミ

卷一

一 狂歌者吉良祐之
主に幕内のみゆき助也と

呼出人

一
一
一
一
一

多幸のものと申すゆ
お手元と申すゆ
物やうに情てとち下り
申まぬことを可也人言
便と毎日と申すはまく朝だ
今まくと申すか、と
勤く おやれいと申す
仕事と申すはまくの事
わたりと申すトトトいた
一回り。 おやめの道
まよとおもてり枝と申すはまくわ
相
御のと申すはまくの事
アリ申すはまくの事。
月と申すはまくの事
名と申すはまくの事
はまくの事
山のと申すはまくの事
木のと申すはまくの事
鳥のと申すはまくの事
アリ申すはまくの事
あり申すはまくの事
唐と申すはまくの事
本と申すはまくの事
仕事と申すはまくの事
をまくはまくの事

おきあらす御のうせと三と御のそ
りはとてよしむことと御の御
布とやりと御の布とおりにいわむ
よりと御と御の御の御と
御のとりと御と御と

